

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 安全のため必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

## △注意

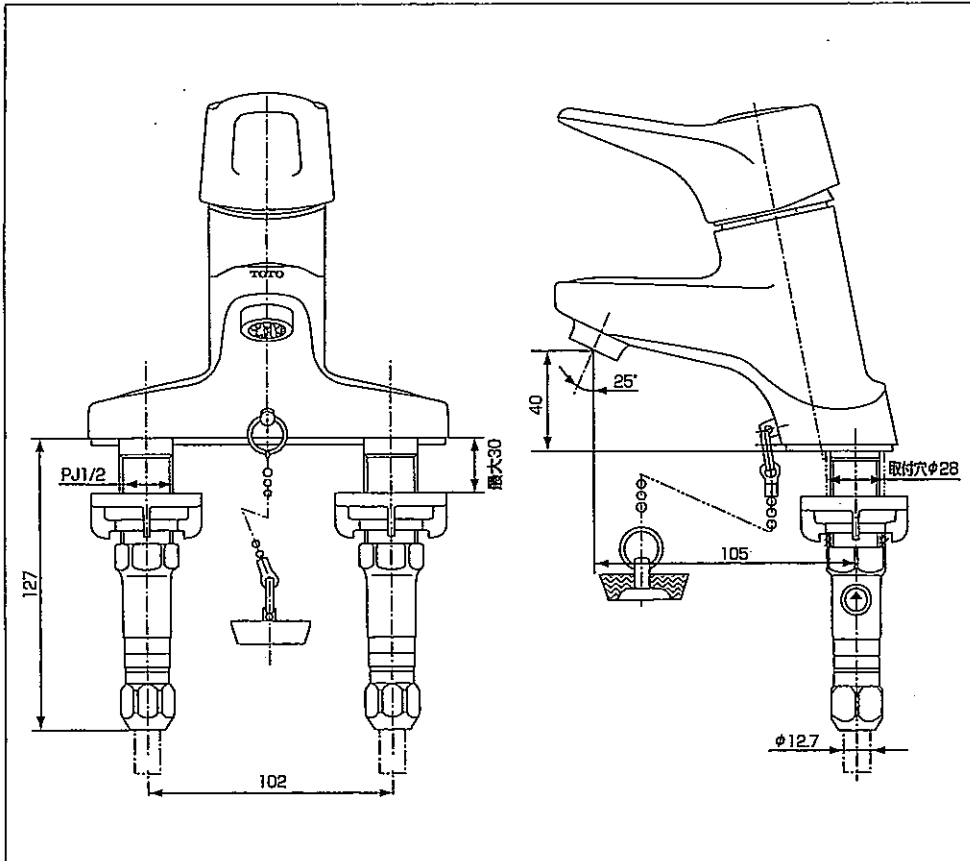
- (1) 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

## 使用条件

1. 使用水圧
  - 給水・給湯圧力
    - 最低必要圧力……0.05MPa
    - 最高圧力……0.75MPa
  - 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。
2. 給湯に蒸気を使用しないでください。
3. 湯・水を逆配管しないでください。  
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

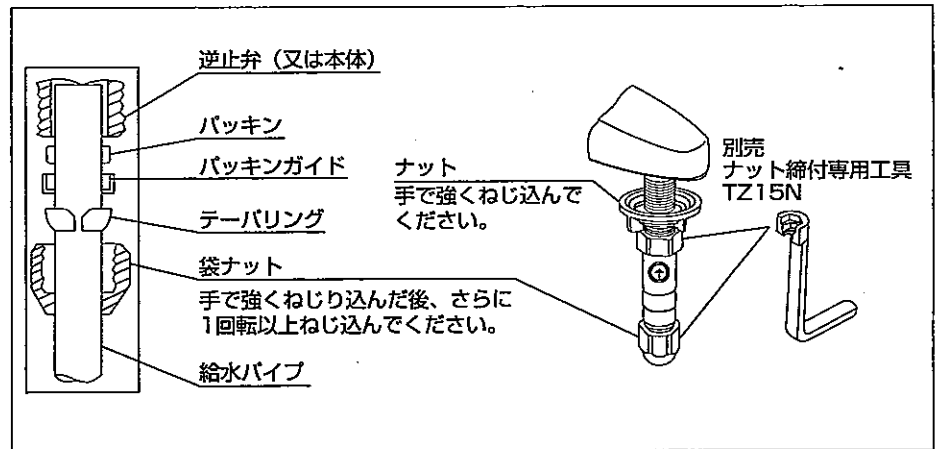
## 完成図

TL330UG型



## 器具の取付け

※器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。  
※混合栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、別売のナット締付専用工具 (TZ15N) を利用して確実に取付けてください。



※差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパーリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。  
※混合栓の取付けは、水栓本体が取付穴の中心にくるように取付けてください。ずらして付けると取付面上側の水が、キャビネット内に漏れる恐れがあります。

## 寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

- 〈水抜手順〉
- (1) レバーハンドルを中央位置 (湯側・水側の中間) で上げる。
  - (2) 水抜コックを開く。
- ※水抜き後は必ず水抜コックを強く締めてください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
  - ・酸性洗剤、塩素系漂白剤
  - ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
  - ・クレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
  - ・ナイロンたわし、ブラシなど
- もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
2. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた浴室用中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取った後、水洗いし、からぶきしてください。

## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

現象	点検項目
吐水量が少ない。	1
水が止まらない。	2, 3
吐水温度不良。	1
ハンドルがガタつく。	4

**ご注意**

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

